

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 25 年 3 月 14 日 (2013.3.14)

【公表番号】特表 2008-510353 (P2008-510353A)
 【公表日】平成 20 年 4 月 3 日 (2008.4.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-013
 【出願番号】特願 2007-525541 (P2007-525541)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 1/16 (2006.01)

H 0 4 W 28/00 (2009.01)

H 0 4 L 29/08 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 L 1/16

H 0 4 B 7/26 1 0 9 M

H 0 4 L 13/00 3 0 7 Z

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成 25 年 1 月 21 日 (2013.1.21)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲
 【訂正対象項目名】全文
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

アップリンクで伝送されたパケットに応答して、node - BにおいてACK / NACK (acknowledgement / negative acknowledgement) 信号を伝送する方法であって、

前記方法は、

ユーザ装置から伝送されたパケットを受信することと、

前記パケットを復号化し、前記復号化の結果に基づいて、前記パケットの受信に成功したか否かを決定することと、

前記決定の結果に基づいて、前記パケットの受信に成功したときには、ACK 信号を送信し、前記パケットの受信に失敗したときには、NACK 信号を送信することと、

無線ネットワーク制御器 (RNC) から前記 ACK 信号および前記 NACK 信号に対する伝送電力レベルに関する情報を受信することであって、前記 ACK 信号および前記 NACK 信号に対する伝送電力レベルに関する情報は、前記 NACK 信号に対する伝送電力が 0 のレベルを有していなければならないか否かに関する情報を含み、前記 NACK 信号に対する伝送電力が 0 のレベルを有していなければならないか否かは、前記ユーザ装置がソフトハンドオーバー状態にあるか否かを考慮して決定される、ことと、

前記 ACK 信号および前記 NACK 信号に対する伝送電力レベルに関する情報を前記ユーザ装置に伝送することと、

前記 ACK 信号および前記 NACK 信号に対する伝送電力レベルに関する情報に基づいて、前記 ACK 信号および前記 NACK 信号に対する伝送電力レベルを決定することとを含む、方法。

【請求項 2】

前記ユーザ装置がハンドオーバーの間には、前記 NACK 信号に対する伝送電力が 0 のレベルを有していなければならない、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 A C K 信号および前記 N A C K 信号に対する伝送電力レベルに関する情報は、専用物理データチャネル (D P D C H) に対する電力オフセット値により決定される前記 A C K 信号および前記 N A C K 信号に対する伝送電力を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 A C K 信号および前記 N A C K 信号に対する伝送電力は、同一のレベルを有する、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記 A C K 信号および前記 N A C K 信号に対する伝送電力は、独立して決定される、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

アップリンクで伝送されたパケットに応答して、A C K / N A C K (a c k n o w l e d g e m e n t / n e g a t i v e a c k n o w l e d g e m e n t) 信号を伝送する n o d e - B であって、

前記 n o d e - B は、

ユーザ装置から伝送されたパケットを受信することと、

前記パケットを復号化し、前記復号化の結果に基づいて、前記パケットの受信に成功したか否かを決定することと、

前記決定の結果に基づいて、前記パケットの受信に成功したときには、A C K 信号を送信し、前記パケットの受信に失敗したときには、N A C K 信号を送信することと、

無線ネットワーク制御器 (R N C) から前記 A C K 信号および前記 N A C K 信号に対する伝送電力レベルに関する情報を受信することであって、前記 A C K 信号および前記 N A C K 信号に対する伝送電力レベルに関する情報は、前記 N A C K 信号に対する伝送電力が 0 のレベルを有していなければならないか否かに関する情報を含み、前記 N A C K 信号に対する伝送電力が 0 のレベルを有していなければならないか否かは、前記ユーザ装置がソフトハンドオーバー状態にあるか否かを考慮して決定される、ことと、

前記 A C K 信号および前記 N A C K 信号に対する伝送電力レベルに関する情報を前記ユーザ装置に伝送することと、

前記 A C K 信号および前記 N A C K 信号に対する伝送電力レベルに関する情報に基づいて、前記 A C K 信号および前記 N A C K 信号に対する伝送電力レベルを決定することと
を実行するように構成されている、n o d e - B。

【請求項 7】

前記ユーザ装置がハンドオーバーの間には、前記 N A C K 信号に対する伝送電力が 0 のレベルを有していなければならない、請求項 6 に記載の n o d e - B。

【請求項 8】

前記 A C K 信号および前記 N A C K 信号に対する伝送電力レベルに関する情報は、専用物理データチャネル (D P D C H) に対する電力オフセット値により決定される前記 A C K 信号および前記 N A C K 信号に対する伝送電力を含む、請求項 6 に記載の n o d e - B。

【請求項 9】

前記 A C K 信号および前記 N A C K 信号に対する伝送電力は、同一のレベルを有する、請求項 8 に記載の n o d e - B。

【請求項 10】

前記 A C K 信号および前記 N A C K 信号に対する伝送電力は、独立して決定される、請求項 8 に記載の n o d e - B。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0039

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 9 】

前記第2実施例において、前記RNCは、前記関連したUEがソフトハンドオーバー状態にあるかどうかに関する情報、及び前記ACK/NACK信号の伝送と関連した他の状態に関する情報を考慮した、前記NACK信号のための伝送電力がオフ(DTX)レベルを有していなければならないか否かに関する情報を前記node-Bに提供する。例えば、前記node-Bの物理階層は、上位階層から受信されたパラメータ値が1である場合、NACK信号を用いて送信電力を"0"に設定し(例えば、"NACK__PW__OFF"と呼ばれる信号を用いる)、前記受信されたパラメータ値が0である場合、前記RNCによって判断されたNACK信号送信電力を用いてNACK信号を伝送する。前記ACK/NACK信号に対する前記送信電力レベルに関する情報は、前記RNCから前記node-Bに伝送されることが好ましい。